

# 音楽会「共感」11/20

校長講話

音楽会が始まりました。今日は児童鑑賞日。久し振りに、全学年のみなさんが体育館に集まりました。明日は保護者鑑賞日です。たくさんの方がお見えになります。不安や緊張もあるかと思いますが、大丈夫です。リラックスしてください。

10月にあった運動会、今回の音楽会、一つ一つの取組は、それまでの練習の積み重ねが何よりも大切です。毎日の授業の学びもそうですが、何かが突然できるようになったり、急に上手になったりすることはありません。小さな積み重ねが、ある時、グンと大きな実を結びます。それが今日です。

これまで、音楽会に向けて、音楽の授業はもちろん、朝や休み時間、学級でも、お家に帰っても練習を積み重ねてきました。自信と誇りをもって、堂々と発表してください。

みなさんの練習の様子を見てみると、舞台やフロアで演奏するみなさん、演出をするさくら学級のみなさん、ピアノを弾く人、指揮をする担任や音楽の先生、全ての人たちの心がひとつになって音楽を作り上げている様子がとても伝わってきます。

演奏の素晴らしさとともに、みなさんと先生方との気持ちが共感し合って、深くつながっていると感じています。今日は、そんな気持ちが聴く人たちに必ず伝わると思います。

最後に、2つだけ確認します。

1つは、演奏を聴く態度です。音楽会は、演奏をする人たちとそれを聴く人たちが一体となって作り上げるものです。心を傾けて、全集中で聴いてください。

もう1つは、演奏する時の姿勢です。もう十分わかっていると思いますが、歌声や演奏そのものとともに、「立つ姿勢」がとても大切です。人の前に立つ凛々しい姿勢で、堂々と臨んでください。

さあ、いよいよです。舞台上の3年生、お待たせしました。音楽会の始まりです。